

# 花巻「ごみ減量」成果

花巻市は本年度からリサイクル古着店を全国展開する「ドンドンアップ」（盛岡市）と共同で、可燃ごみに分類されていた衣類を資源として回収し、海外で販売する取り組みを進めている。初回の5月下旬には予想を上回る約24・5トンを回収。市は「市民に浸透し、ごみを減らそうとする意識も広まってほしい」と期待している。

## ドンドンアップ（盛岡）連携

同社は昨年8月から 城県つくば市の同社提  
県内外の市町村で古着 携工場へ搬送。  
を回収、リユース販売 マレーシアの工場へ  
している。現在、大槌 輸出され、アジア・ア  
町など計7カ所で連携 フリカ22カ国で販売さ  
し、同市では今後、7 れるほか、衣類として  
月と10月、来年1月の 再利用できないものは  
回収を予定している。 工業用雑巾などに加工

当初4トントラック1 されるといふ。

台分を想定していた 同センターで作業に  
が、予想を超える量が 当たった同社商品部の  
集まり、6日までに3 高橋徹さんは「多いと  
回に分けて同市矢沢の ころでも10トほどなの  
市清掃センターから茨 で驚いた。日本は流行

## 古着回収 初回は24トン 今後3回予定、浸透期待



花巻市清掃センターから運び出される衣類の山。初回は予想を超える約24.5トが集まった

があつて、すぐに服を 捨てる傾向がある。状  
態がいいものも多く、 佐藤要資源循環係長  
海外では需要が高い」 は「可燃ごみの4割を  
と話す。 紙、（衣類を含む）布  
市内ではここ数年、 が占める。資源回収の  
家庭ごみが増加してお 取り組みが浸透し、ご  
り、減量対策として衣 み減量につながって  
類の資源回収に踏み切 ほしい」と期待を込め  
捨てる傾向がある。状 った。市生活環境課の  
る。